

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		本事業は、可燃ごみ焼却施設の維持管理を行う事業であり、その事業の性質上、成果を数値で判断することができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-								

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	施設竣工後36年が経過しているため、施設の老朽化に応じた適切な維持管理を行い、計画的なごみ処理が必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	計画的な維持管理，予防保全による円滑なごみ処理を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	可燃ごみを計画的に焼却処理しており、施設の適正な維持管理，焼却余熱を有効に利用し発電による余剰電力の売電や温水プール熱源供給を行っている。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	ごみ処理の拠点施設として可燃ごみの焼却処理，施設の維持管理及び余熱の有効利用による発電と余剰電力の売電，石名坂温水プールへの熱源供給を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	可燃ごみの処理計画の策定に関すること	無	無	3	2
2	計量業務に関すること	無	無	1	2
3	可燃ごみ搬入指導業務に関すること	無	無	3	3
4	資源の受入業務に関すること	無	無	3	3
5	焼却炉の運転に関すること	無	無	3	1
6	焼却残渣の処分に関すること	無	無	3	1
7	大型ごみ搬入指導業務に関すること	無	無	3	1
8	大型ごみ破砕機の運転に関すること	無	無	3	1
9	犬猫死体の受入・焼却処理に関すること	無	無	3	1
10	廃棄物処理手数料（現金）の収納に関すること	無	無	3	3
11	廃棄物処理手数料（月極）の収納に関すること	無	無	1	2
12	廃棄物処理手数料の減免に関すること	無	無	1	2
13	犬猫用骨壺実費収入（現金）の収納に関すること	無	無	3	3
14	大型ごみ等処理手数料（現金）の収納に関すること	無	無	1	2
15	公金現金の取扱いに関すること	無	無	3	3

16	所全体の維持管理に関すること	無	無	2	2
17	所内の安全衛生に関すること	無	無	1	3
18	廃棄物処理技術管理者の職務に関すること	無	無	3	3
19	電気主任技術者の職務に関すること	無	無	2	3
20	ボイラー・タービン主任技術者の職務に関する こと	無	無	1	2
21	環境保全に関すること	無	無	3	2
22	防火管理者の職務に関すること	無	無	3	3
23	工事・業務委託の契約, 執行管理に関すること	無	無	3	3
24	施設修繕の契約, 執行管理に関すること	無	無	3	3
25	物品修繕の契約, 執行管理に関すること	無	無	3	3
26	消耗品の管理, 発注に関すること	無	無	3	3
27	施設見学者に対する説明, 案内に関すること	無	無	3	3
28	地元住民対応に関すること	無	無	2	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	宮沢 義之	確認日	2020/8/21
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	石名坂環境事業所整備費										担当課	部課名	環境部石名坂環境事業所			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	002	説明	05	課等の長	曾根 道明	電話	6464

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 59 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	焼却処理業務を円滑に実施するための施設整備工事を行う。						
対象	4. その他	市民及び事業者				433,060 人	
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 藤沢市廃棄物の減量化, 資源化及び適正処理等に関する条例					
事業実施内容	焼却施設の処理能力を良好に保つため, 機械設備等の工事を行った。 令和元年度実施工事 1 焼却炉耐火物打替工事 2 廃熱ボイラー水管補修工事 3 タービン排気復水器更新工事 4 排ガス冷却器整備工事 5 蒸気タービン整備工事 6 タービン発電機更新工事 7 バンカ下集塵装置更新工事						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 1,007,613 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		旅費	90 千円	工事出来高確認に係る経費
		需用費	99 千円	印刷製本費
		工事請負費	1,007,424 千円	経年劣化等による機械設備等の整備工事費
財源内訳	R元年度 支出済額 1,007,613 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	87,000 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (焼却施設整備事業債)	457,800 千円	
		一般財源	462,813 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	2.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
	行政費用 A	479,596	670,938	647,421	1,966,828			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	479,660	671,441	647,637	1,966,810			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	412,901	425,723	583,690	1,007,613			
	償還金利息	47,468	226,385	44,675	939,760			
	人件費合計(①+②+③)	19,291	19,333	19,272	19,437			
	①職員給与合計(常勤)	18,202	18,438	18,334	18,282			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,089	895	938	1,155			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-64	-503	-216	18			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-64	-503	-216	18			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	1128.18	425,105	1569.44	427,501	1508.03	429,317	4541.70	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		本事業は、可燃ごみ焼却施設の機能を維持する事業であり、その事業の性質上、成果を数値で判断することができない。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	施設竣工後36年が経過し，重要機器の整備を計画的に進めている。ごみ処理も計画的に行う必要があることから，工事工程等の十分な調整が必要となっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	工事項目も増加していることから，工法等を検討し効率的な工事を行い，工事工程とごみ処理計画の調整を進める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市焼却施設整備基本計画の整備スケジュールに基づき，施設整備の実施，施設の老朽化及び延命化対策を行っている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	焼却施設の老朽化対策等を計画的に実施し，ごみ処理の拠点施設として延命化を図っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	工事・業務委託の契約，執行管理に関すること	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	宮沢 義之	確認日	2020/8/21
----	-----	----	-------	-----	-----------